

足場を起因物（小）とする死傷災害発生事例（2017年）

年	月	発生時	死傷災害発生事例	年齢	業種（小）	事故の型	労働者規模
2017	1	13～14	1階天井の配管作業中に、ローリングタワーにて昇降時に足を踏み外し、1m下の1階スラブ上に足から落下し、右踵に右腓骨骨折を負った。	52	30201	1	1～9
2017	1	15～16	船体の外板溶接作業完了後、高さ150cm下の地面（コンクリート）へ着地しようとしたところ、足を地面に着き痛めた。	60	11501	3	—
2017	1	16～17	建物の解体工事の現場（単管足場）で、足場の取り外し作業を行うため、足場に上がり、移動する際、安全帯のかけかえを行うため、上段の足場に安全帯をかけようと、上段のパイプ位置を確認せずに、下を向いたまま感でこの辺りだろうと勢いよく立ち上がり、何も無いところに向けようとしたため、両手も手ばなしだったため、本人不注意により転落した（4～5m下）。	24	30202	1	1～9
2017	1	11～12	外壁ぬり替えのための足場で作業中、横向きで移動していたため段差（80cm）があるのに気づかず、足を踏みはずして80cm下の足場に落下し、負傷した。	72	30309	1	—
2017	1	11～12	足場の解体作業中、クランプが弛んでいる事に気付かず、足元の単管がゆれて地面から2mの高さから落下し、左側腰・臀部をコンクリート面に打ちつけた。	74	30202	1	10～29
2017	1	13～14	外装メンテナンス工事現場にて、仮設足場の解体作業中、4段目の足場から3段目の足場へ建地を使って降りようとした際、約7mの高さから転落した。	65	30201	1	—

2017	1	12～ 13	先行足場組立作業中、体勢を崩して基礎方向に6コマ支柱ごと落下し、足から着地した。	41	30202	1	—
2017	1	18～ 19	体育館改築工事において、2Fトイレ内にて、ボード工が立馬（H＝1.77）の感知バーを片面外して作業していたが、2層目のボード（14.1kg）を貼る際にボードが滑り、バランスを崩して壁と立馬の間に墜落し、左手を被災した。	47	30201	1	—
2017	1	15～ 16	コンクリートを打設中、バイブレーターを肩に担いで予備通路の足場上を移動中に足場板を踏みはずし、手摺りに掴まったので墜落はまぬがれたが、その際に腰をひねってしまった。	40	30201	19	—
2017	1	11～ 12	現場内でプラスターボード貼りの作業の際、6尺の脚立足場3段目に昇りLGS地下にビスで貼っている時、ビスがなかなか入らず力を入れて押し込んだ時勢い余って前に倒れ頭から転落した。低い足場との過信から注意を怠ったことによる災害だと思われる。	78	30201	1	1～9
2017	1	13～ 14	木造住宅新築工事現場で下から2M位の所の外壁外ドウブチを打っていて、風にあおられバランスをくずし下に落ち、足をついたが、下に置いてあった足場の鋼管に右手を打ちつけた（足場の上から落ちた）。	40	30202	1	1～9
2017	1	10～ 11	派遣先にて、水冷設備の清掃・洗浄・整備の作業に従事中、冷却水槽の上部に設置された外蓋を外す為、移動式足場に昇り（足場板の高さ2メートル弱）作業したが、電気工員が作動しなかったため、電気の確認をするため足場の梯子から降りようとした時、掴んだフレームの留め具が外れ、足場板から落下した。その際、コンクリート製の床面に左足で着地したため、左踵を負傷した。	57	170101	1	1～9
2017	1	10～ 11	内部足場を降りようとしている際、足場の踏板（幅40cm）に足をかけ損ない、手すりを掴めきれず3段目から1段目の足場踏板（幅80cm）に落下し（高さ約6m）、左肩甲骨を骨折し、左足太ももを打撲した。	28	30201	1	—
			上り線第4非常駐車帯において、作業員2名でセントルの張出足場				

2017	1	9~ 10	でバリ受け（襜板を押える）鋼材H鋼H125、L=2500、60kgをセントルに固定する作業をしていたところ、鋼材を取り付ける向きを合わせる為に、鋼材の端部を手摺に置いて反転させた。その際に、鋼材が手摺の斜めの部分を滑り落ち、被災者がそれを止めようとしてバランスを崩し、手摺（h=65cm）のすき間（b=700mm）から約4m下に墜落した。	60	30102	1	10~ 29
2017	1	15~ 16	解体工事現場で防音シートを外すため、足場に登り作業をしようとしたところ、足場の2段目に乗った際に誤って、足を滑らせてしまい落下し負傷した。	43	30202	1	—
2017	1	15~ 16	仮設足場から外壁へプライマー塗布作業中に仮設足場から約3.5m下の建物バルコニーへ墜落した。なお、安全帯は着用していたが未使用だった。	41	30209	1	—
2017	1	9~ 10	1番ホールド内で脚立、ローリングタワーが使用不可能な場所でパイプ上に乗り、養生はずしの作業をしていた。作業終了後にパイプから降りる際、左足から地面に着いて体重を掛けた時、左足が滑り転倒し、左手を地面につき受傷した。	52	30209	2	1~9
2017	1	16~ 17	現場でローリングタワー足場（移動式足場）にて作業中、土間に凹凸があり、足場が横転し、作業をしていた者が落下しケガをした。	54	30201	1	—
2017	1	11~ 12	倉庫シャッター正面側にて、可搬式作業台（立馬）を使用してシャッターの塗装を行っていた。シャッターの入隅を塗り込む際に力を込めて刷毛を入れ込み、その力が可搬式作業台に伝わり作業台が振れた。被災者本人が咄嗟に作業台ごと転倒すると感じ後ろに飛び降りた際、床に置いてあったパレットに右足かかとから降りてしまい、右足かかとを強打した。	55	30209	1	—
2017	1	15~ 16	一般住宅の塗装工事現場で、最終塗装手直し作業中に、足場の踏み板から足を滑らせ、地上2mの高さから落下した。	46	30209	1	—

2017	1	17~ 18	個人宅屋根修理現場において、作業現場の片づけをしている際、脚立2つの間に板を通し、その上に乗って屋根上の同僚から工具収納箱を受け取り、地面へ下ろそうとしたとき、バランスを崩し地面（コンクリート）へ飛び降りたが、着地の際に右足かかとを痛めた。	27	30202	1	1~9
2017	1	13~ 14	外部足場から建物2階にある外部ステージへ移る際、外部ステージに設置されている柵を乗り越えて降り、外部ステージの足元に一度上がったが、敷板の周りが凹んでおり、その凹みである部分に足をついた際に足を捻った。	25	30209	19	1~9
2017	2	16~17	工場敷地内で産業廃棄物を入れるコンテナに脚立に上って産廃を積み込んでいた時、誤って落下し左骨盤を骨折した。高さ1m程の馬足場から転落。	55	10301	1	50~ 99
2017	2	9~10	足場上で外壁塗装作業中足場下棧に接触した際、下棧が外れ約9m落下した。下棧を取り付けていたブレースピンが固定されていなかった為、外れてしまったと思われる。	54	30201	1	1~9
2017	2	9~10	木造解体工事現場において、足場シートの紐が風が強いため切れてしまったため直していたところ、強風にあおられバランスを崩し、高さ約4mの足場から落下し、首の骨を折った。	20	30209	1	—
2017	2	16~17	個人住宅（木造二階建）の塗装工事で、当初は二名で作業していたが、作業終了時間が、間近だったので、被災労働者に、終了の片づけを頼み一名は他の現場の見廻りに行った後だった。現場の前の道路に倒れている被災労働者を通りがかりの人が見つけ、取締役に連絡が入り駆けつけたところ、急いだが救急車に乗せられておりドクターヘリにて搬送された。現場には被災労働者が一人きりだったため、詳しい原因は不明だが、足場一段目より落下したように思われる。	49	30209	1	1~9
2017	2	8~9	現場において、塗装作業中に2mの高さの足場から落下し、頭部・腰を打ち同部を負傷した。	67	30209	1	—

2017	2	14~15	2階に上ろうとして昇降階段があったのだが、階段の無い所から登った。足場の建て地に手を掛けようとしたら、滑り、右手からつくように後から倒れた。	20	30202	1	—
2017	2	15~16	3ヶ月前に行われていた祭りの展示物を解体作業中、地上約7.2mの高さにある足場に乘ったところ、足場を支えていた板が梁から外れ、足場の板ごと落下し、途中地上約3.6mの足場の板に乗ったものの、度の足場の板も外れ、地面に落下した。落下した際、背骨の圧迫骨折及び肋骨の骨折、左手首の骨折をした。	61	140302	1	10~29
2017	2	9~10	玉ねぎ乾燥施設建設工事において、足場組立作業中バランスを崩し5m下の合板上に転落した。その際、全身を強打したと思われる。すぐに病院に搬送されたが死亡に至った。	76	30201	1	1~9
2017	2	15~16	個人宅屋根工事で足場を歩いている、上を向いた時、足場の棒が右目の黒目に当たってしまった。	21	30203	3	1~9
2017	2	17~18	住宅建築現場で作業中に仮設足場から左足を踏み外し、体勢を崩し落下する際に足場板につかまり地面への落下は免れたが肋骨と腰を強打した。	39	30209	1	1~9
2017	2	16~17	工事において、作業員2人で脚立の上に足場板を足場にして、多目的室の天井ボード貼り作業中、バランスを崩し足場から落下した。その時に自分が履いていた安全靴の靴紐を自分で踏んでしまい、転倒した時に右手を負傷した。	58	30202	1	1~9
2017	2	16~17	既存建物3回で便所内部の壁タイルを、高さ約1.5mの立ち馬に乗って、チップパーで斫り撤去作業中、機械の反動でバランスを崩し、左腕を着くように転落し被災した。	37	30201	1	1~9
2017	2	10~11	事務所増築工事外壁サイディング張り施行時1段目足場上から足を踏み外して転落した。原因：落下防止手すりが1段しか設置されていなく、中間から転落したと思われる。	63	30199	1	10~29
			LNG船内の建設現場にて足場にのぼって、ケーブル布設作業中、				

2017	2	10~11	次の足場へ移動する時に、正規ルートを通らず、足場の手摺を乗り越えて移動した時に、足を掛けた部位が回転して、支えが無くなり4.3m下に落下した。	50	11501	1	1~9
2017	2	14~15	改修工事現場で、床版下（中段足場上）において既設床版切断作業に先行して、カッター切断時の火の粉がブルーシートに引火しない様に薄ベニアで養生作業をしていた時、防災シート（下面）で覆われていた足場板が一部干渉した為動かそうとし手を伸ばした先に足場板がなく、中段足場上でバランスを崩し、1.2m下の橋座部へ墜落した。（養生シートにより作業床の開口部が見えない状況であった。）	50	30199	1	1~9
2017	3	14~15	耐震リニューアル工事において足場解体工事中、単管と枠材の接合部材に挟まれ、左手人差し指を負傷した。	19	30201	7	1~9
2017	3	14~15	塗装工事現場で高さ4mぐらいの足場で作業中に上を向いたままの作業で移動中、段差で足を踏み外して落下した。	39	30209	1	1~9
2017	3	9~10	足場の組み立て完了後、足場残材を下ろしている作業中、900枠材を持って外部足場最下段を降りているときに、持っている枠が足場に引っ掛かり、その引っ掛かりを外そうとしたところバランスを崩して足を踏み外した。その際、高さ調節で使っている踏台の角に右腕をぶつけ、持っていた物で腕を挟まれた。	33	30201	3	100 ~ 299
2017	3	9~10	食堂階段室内において、被災者は天井の塗装のため足場での作業中、バランスを崩して約1.0m下の階段に墜落し、第2腰椎を圧迫骨折した。	45	30209	1	1~9
2017	3	9~10	2階踊り場の手摺に足を掛け移動していた際、手摺を固定していたビスが折れ、手摺が外れ5mそのまま1階コンクリート地面に左半身から落下した。落下の際に左わきを殴打して肋骨を骨折し、腰袋に入れてあったドリルの鉄鋼キリが背中に当たり負傷した。	46	30202	1	1~9
			木造建物内の改造作業において、ヘルメットをかぶり、木材にて天井下地組み工程で天井を吊り、吊木を固定する作業を行う為の				

2017	3	15~16	足場としてアルミ脚立（1.7m）を床の左右に設置し、その間（高さ約1.5m）位置に（巾2.4cm厚さ3.6mm、長さ2.7m）の板を渡し足場とし、床上3mより少し高い位置の梁に吊木の上部をビスで固定をしようと、身体を伸ばした瞬間、腰に差すような激痛（椎間板ヘルニア）の症状を感じてバランスを失い、足場から左足を踏み外し肩から転落し、肩を脱臼する。	66	30202	1	1~9
2017	3	10~11	住宅のリノベーション工事にて、足場（高さ約2m）に上がり外壁サイディング貼り作業に従事していたが、足場の支柱下部にジャッキが無い部分があり、宙に浮いた状態となっていたため、足場が外れ、背中から落下し負傷した。なお、足場は設置されていた。	38	30209	1	1~9
2017	3	11~12	高さ1.5mの位置に足場を組み、外部軒天張り作業をしていた際、仕上げ材の板が無垢のため板の反りがあり、実が小穴に入らずこじ入れていたところ、桁より垂らしてあった門柱に体重が掛かり、門柱が外れ、足場上よりコンクリートの土間に落下し、左肩・肘・腰を負傷した。	62	30202	1	1~9
2017	3	9~10	足場組立作業中高所作業において、足元の不安定及び安全保護具（安全帯）の不使用のため発生した。足場の3番目（高さ5.4m）の位置で、作業具が幅木を設置する作業を行っていたところ、誤って体勢を崩し、安全帯のフックを固定していなかったため墜落し、とっさに3段目に仮置きしてあった足場の手摺部材につかまっていたが、手摺とともに下のコンクリートに墜落し、裂傷及び出血した。	24	30106	1	1~9
2017	3	22~23	工事現場で昇降式移動足場アップスターに乗って天井の点検が終了し、降りる際に足を踏み外して床に落下し、右肘と右膝を骨折した。	23	30201	1	1~9
2017	3	17~18	分譲地にて新築工事の外部1階の軒天の墨打ち作業中、足場上を左に移動した際に左足を踏み外し、足場上で転倒し、左肩を足場に	68	30202	2	1~9

			強打し、左肩の筋を断裂した。				
2017	3	10~11	メーカータンクローリー積込場で、約30kgのホースと先端フランジを持ち上げ、残液をこぼれない様に右手にホースを支え、左手で空缶へ残液処理した際、腰に激痛が発生した。	37	30201	1	100 ~ 299
2017	3	13~14	現場で新築工事中、カラーベスト屋根材を屋根上に貼るために作業中、左足は屋根の上で右足を足場にかけてようとしたとき、滑って2階より転落し、腰や尾てい骨など3か所を骨折した。	33	30201	1	1~9
2017	3	10~11	当社外壁塗装作業現場にて土間の養生作業中、シートを敷いて立ち上がろうとしたところ、外壁塗装用の足場のブラケット（高さ約1200cm）で左目下をぶつけ、約4cmほどの裂傷を負った。	36	30209	3	1~9
2017	3	9~10	ローリングタワーより補修用モルタルをコテ塗りの作業中、タラップより降りようとした際に誤って手が滑り、約4m下の2階スラブへ転落した。	61	30209	1	1~9
2017	3	9~10	工場内で車輪付き足場を移動中、高さ調節のために足場に登った時にバランスを崩し、飛び降り（約1m）で右足首を捻った。	45	10801	1	50~ 99
2017	3	16~17	住宅の塗装工事中、足場の1段目から降りようとした時にネットが足に引っ掛かり、地面に転落した。	53	30209	1	1~9
2017	3	8~9	外部南側壁塗り作業時、前日の雨天で足元が滑りやすくなっている足場上高さ1.1mより足を滑らせ転落し、コンクリート土間に左ひじを強打した。	34	30202	1	10~ 29
2017	3	16~17	2階スラブ部の撤去作業中のバックホウ0.2?（ブレーカー付）運転者への合図員として、2階にいた作業員が重機作業終了後、コンクリート殻を人力で撤去するため移動したところ、足を滑らせ開口部に転落した。	58	30199	1	10~ 29
2017	3	11~12	工事現場にて警備をしていた際、業務でカラーコーン2つを仮設足場の上に設置した後、仮設足場から降りる時に仮設足場（歩道から約1mの高さ）に座り歩道に飛び降りたところ、着地した際に腰	68	170201	3	10~ 29

			のあたりがグギっとなり、体勢をくずして臀部から転倒した（第二腰椎圧迫骨折）。				
2017	3	17~18	鶏舎新築現場において、鶏舎の壁貼りの作業を足場上で行っている際、ボードの切断が必要となり左手で押さえ、右手でマーキングしようとした際、無理な体勢になり、又、雨が降ったこともあり、足場が濡れていたため足を滑らせ、足場上より墜落した。	62	30201	1	10~29
2017	4	10~11	屋根修繕工事（工務店元請け）現場内において、屋根修理のため足場を登っていたところ誤って足を滑らし、地面（約3M50下）に転落した、庭にあったブロックに右胸及び肩、腰などを打った。	60	30202	1	1~9
2017	4	11~12	2階型枠支保工解体時、外部軒下の型枠解体材（ベニヤ）を内部側へ移動の際、ベニヤの釘がズボンに引っ掛かり体勢を崩して、反動で脚立足場（1.4m）から転落し、右膝下部を打ち負傷した。	65	30201	1	1~9
2017	4	9~10	塗装工事において、木造二階の建屋でメッシュシートを撤去する作業中、足元を確認せず歩いた場所が幅の狭い踏板を使用していた為、踏みはずして転倒する。	32	30209	1	1~9
2017	4	8~9	会社工場内で、焼付炉内の天面の拭きとり作業中、足場の（高さ約1.2m）上に昇った際にヘルメットが落下したため脚立を使わずに降りようとしたとき、足を滑らせ地面に転倒し、足場が設置されている斜面側から滑り落ち、左胸部から脇腹にかけて打ちつけた。	44	11209	1	50~99
2017	4	10~11	営業所場内にて足場材の整理中に、シートを所定の場所に移動中、不安全な状態は無く、運んでいる途中で足を滑らせ落下し、右くるぶしを骨折した。	26	30209	1	10~29
2017	4	11~12	外壁塗装工事の現場で足場の架設作業中に、2階部分の足場から転落し、頭部と左手を強く打った。	48	30203	1	1~9
2017	4	11~	複合施設建築現場で、1階ロビーで火災報知器設置工事の下準備をして、ローリングタワーを用いて天井内の配線調査を行い、ロー	41	30201	1	1~9

		12	リングタワーを降りる際、約2mの高さから足を踏み外して床に滑り落ち、左目周囲を負傷した。				
2017	4	9～ 10	足場の解体作業をレッカーを使用し、ブロックで行っていた。玉掛をはずし巻き上げる時に介錯ロープが足場からみ、足場が倒れ、挟まれて負傷した。	23	30201	1	—
2017	4	11～ 12	被害者は、当社敷地内にある、資材小屋の屋根トタン修理のため、他作業員1人と共に足場を組み、はがれているトタンの点検をしていた。始めに1スパンずつの600mm枠組足場2段を左右に組み、4m鋼製足場板を1枚渡して、高さ3.5mになった足場を組み終え、2人で足場板の上に登り点検を終えた時に、足場板が2人の重みで弾み、しなり、揺らいたため、共にいた1人がバランスをくずして、被害者の身体にぶつかり、衝撃で2人共、砂利の地面に転落し、左肘で自身の身体を受けるような恰好でけがをした。足場板を結束せず、固定していなかったのが原因である。	35	30199	1	10～ 29
2017	4	11～ 12	被害者は、当社敷地内にある、資材小屋の屋根トタン修理のため、他作業員1人と共に足場を組み、はがれているトタンの点検をしていた。始めに1スパンずつの600mm枠組足場2段を左右に組み、4m鋼製足場板を1枚渡して、高さ3.5mになった足場を組み終え、2人で足場板の上に登り点検を終えた時に、足場板が2人の重みで弾み、しなり、揺らいたため、被害者はバランスをくずし、他の作業員の身体にぶつかり、衝撃により2人共、砂利の地面に転落した。落ちた場所に大きな石があり、左足が乗っかり、左肘で自分の身体を受ける様な恰好で怪我をした。足場板を結束せず、固定していなかったのが原因である。	36	30199	1	10～ 29
2017	4	10～ 11	雨樋工事中に2階の足場から1階の足場へ降りる時、1階の足場が狭くなっていてそれに気付かず落下し、手すりに右脇をぶつけ右肋骨3ヶ所ひびと骨折を負った。	56	30202	1	1～9
		13～	建築現場で玄関天井クロス施工中、バランスを崩して右手首を手				10～

2017	4	14	の甲から壁に押すような形でひねり負傷した。	44	30202	3	29
2017	4	15～ 16	新築工事塗装工事作業中、足場（高さ約2,300～2,500mm）上で外壁をローラーで塗装中、左へ移動しようとしたところバランスを崩し後方へ落下し、右手骨折と腰・左足を打撲した。	34	30209	1	1～9
2017	4	16～ 17	住宅解体工事で重機による建物解体作業中、重機付近が危険の為被災者に現場左奥側での作業を指示、重機と手元作業員で解体作業中、被災者が見当たらず、手元作業員に確認を指示した所、作業現場の左奥で仰向けに転倒していた。雨のため現場内の足元が悪く、被災者は複数回転倒していた。被災者は丸太足場に昇り作業を行っていたときに足を滑らし（転落の可能性有り）、事故当時はショック状態だった。	51	30309	1	10～ 29
2017	4	16～ 17	現場玄関付近で物を運んでいる時に、運んでいる物が乗せようとした段差に上がりきらず、足元にあった根がらみに足を引っ掛け転倒した。	23	30209	2	1～9
2017	4	8～9	解体現場にて高所での解体作業中、転落防止のロープやヘルメット着用の義務付けが徹底指導されていたが、油断して着用を怠ったため転落事故が発生した。	20	30209	1	1～9
2017	4	14～ 15	作業所のエレベーターシャフト内、各階に設けた足場板全面敷ステージの9階部分で、被災者が脱型した型枠材を足元に積み壁型枠解体作業を行い、材料を勢いよく積み込んだところ、足場板を支えていた単管を固定する先端クランプのボルトがアンカーから緩み、荷重の掛かったところから順次外れて行き、1階下のステージまで滑り台のような形になり、荷と共に滑り落ち、型枠材に左足首を挟まれた。	65	30201	5	1～9
2017	4	10～ 11	倉庫内で解体（倉庫）作業中、足場から転落した。	38	30202	1	1～9
			店舗内エアコン取替作業の際、撤去準備中に室内機固定ボルトが				30～

2017	4	0～1	外れ、室内機が被災者に乗りかかり、既設室内機撤去中の脚立足場（アルミ道板使用H1.8m）から転落する。	44	30309	1	49
2017	4	12～13	足場上で個人住宅のテレビ共聴引き込み工事を済ませ、地上に降りようと建枠を伝って移動中足を踏み外し、下部の交差している足場上に落ち膝を損傷した。	58	30301	1	10～29
2017	4	13～14	カーポートの屋根を施工の現場において、脚立を2本立てた足場上の作業中にバランスをくずして転落し、頭部と左腕のひじを裂傷する。	63	30202	1	1～9
2017	4	16～17	平屋建て車庫の外壁の杉板を貼り替え作業中において、屋根上に置いてあった釘板を取ろうとした際に脚立足場から足を踏み外し、約1.8m下に転落し左手首を骨折した。	34	30202	1	10～29
2017	4	16～17	木造平屋建て約149㎡を建前中105cm巾の梁を治め束を治める時、梁の横に足場板36×240cm2枚引き足場板と梁の上を歩き束を治めている時、足を滑らせ約3M下に落下し、肩・胸・腰・足4ヶ所を骨折した。	67	30202	1	1～9
2017	4	16～17	外部足場で外壁下地防水シートを張っていたとき、足場の内側に落ちた。落ちた時は誰も見ていなかった。	56	30202	1	1～9
2017	4	17～18	本人はブロックを降ろした後のポスト受けし架台（地上から約2.5M）に乗り、次船のブロックサイズのマーキング作業を行っていた。本人は架台に上がりA地点から移動しながらマーキング作業を行っていた際、足場板に乗り、B地点に移動したときに足場板が不安定となり、2.5M下まで落下し、右側から落ちて右手首を受傷した。	61	11501	1	1000～9999
2017	4	14～15	新築工事現場に於いて、足場の一部を取り外していた際に、足場が外れた反動で高さ約4mから転落した。	33	30202	1	1～9
2017	4	8～9	寿司部屋でビンケースに乗って棚の隅に荷物（ウレタン入りの大きな袋）を置こうとしたが中々収まらず、押し上げてるときにビ	66	80209	19	10～

			ンケースが動き、とっさに左手（骨折治療中）で棚を掴み一瞬肩を引っ張った状態になり、肩に激痛がはしり脱臼した。					29
2017	5	9～ 10	事務所左側面に通路（木造）屋根軒板取付時に、6尺脚立（2台を両脇に設置し、アルミ足場板をゴムバンドで緊結）上に乗し、コンパネ材を持ち屋根に持ち上げた際にバランスを崩し、後方に尻もちをつくようにして落ち、後頭部（ヘルメット着用）を地面にぶつけ、くも膜下出血および頭蓋骨ひび割れとなった。	77	30202	1	1～9	
2017	5	11～ 12	当社土場において足場組立の練習中、バランスを崩して高さ約3mの単管足場から地面に置いてあったパイプの上に落下し、肝臓を損傷した。	23	30209	1	1～9	
2017	5	9～ 10	当社車両点検場・洗車場において、フォークリフトに乗せてあったシート（幅3m50cm×長さ13m）を広げる作業をしている時、右足を踏み外して高さ2m位から地面（土）に落下し、肋骨と腰骨を骨折した。	64	40301	1	1～9	
2017	5	9～ 10	個人宅の屋根塗装工事で大屋根の唐草部分の塗装のため、下屋根にかけた足場に上がって作業中、誤って下屋根に滑り落ち、左肩などを負傷した。 躯体と足場との間に墜落したとのことである。	45	30202	1	1～9	
2017	5	16～ 17	工事現場において、建物外部の洗浄をするため、足場の一段目に乗り、スポンジで外壁を洗浄中、足場から誤って足を踏み外し落下し、足と左肩をついて着地後、花壇に頭をぶつけ負傷した。	54	30201	1	1～9	
2017	5	9～ 10	商業施設内において、開店準備中に商品陳列棚（ガラス面、高さ173cm）を拭こうと踏み台（高さ20cm、幅45cm、奥行30cm、木製、天板厚さ2cm）に乗って、サングラスを左手に持ち上げ、右手の布巾で拭こうと手を伸ばした時に踏み台がぐらついて右に転倒し、床のタイル面に身体右後側を下にして打ちつけ負傷した。 負傷時、踏み台右側の脚が外れて取れていた。 同店スタッフに起こしてもらい、少し休んで仕事につき、その日は痛みを我慢して仕事を終え、翌日に痛みが増してきた。	39	80201	1	1～9	

2017	5	16～ 17	外壁交換工事の現場で4段組の足場（くさび緊結式足場）において、2段目より3段目に壁材を移動する際に体のバランスを崩し2.5m程落下した。（足場手摺り有、安全保護帽未着用）	49	30202	1	1～9
2017	5	13～ 14	躯体斫り工事のため、斫り工2名、相番工1名（被災者）、監視人1名で作業中、足場上より墜落したと見られる。	56	30201	1	50～ 99
2017	5	9～ 10	軒天を張り替えるため足場を上っていて、1段部で足を滑らせて落下し、足場1段目高さ1.8mの場所から落ちた。	28	30202	1	1～9
2017	5	9～ 10	倉庫解体工事においてローリングタワー（高さ約3.5m）に乗って庇の撤去を行っていたところ、誤ってローリングタワーから転落した。	70	30209	1	1～9
2017	5	11～ 12	跡地整備工事において、解体用養生足場を撤去作業中、最上段の作業が終了し、1段下の足場へ昇降階段を利用せずに移動していた。コンクリート壁を重機で内側に倒そうとしていたが足場に接触し、その衝撃により、高さ11mから地上に落下した。	27	30209	1	1～9
2017	5	10～ 11	新築足場解体で足場を解体している時、1.5mのパイプを仮置きした際に単管が落下し、下にいた作業員の右手に当たった。	18	30202	4	1～9
2017	5	11～ 12	工場内において、室内クレーンのレールの美装作業をするため足場上にて準備していたところ、足場の片側に重心を掛けすぎたため足場が倒れ、足場とともに高さ4mから転落した。	47	150101	1	1～9
2017	5	16～ 17	内装解体作業において、伸び馬（1.2m）上で、蛍光管取り外し作業中、バランスを崩してしまい床に右半身から落下した。	50	30209	1	1～9
2017	5	16～ 17	個人宅工事現場において塗装作業中、足場より足を踏み外し落下し、腹部を強打して負傷した。	39	30209	1	1～9
2017	5	16～ 17	軽量鉄骨二階建て事務所外壁改修工事現場で、足場から降りる際に足を滑らせて約2.3m位の高さから転落し、肩周辺を強打した。昇降設備はなく、手すり等があったかは不明である。	57	30309	1	1～9
			5段の内3段目の場所で外部足場解体作業中、作業員3名は足場5段				

2017	6	8～9	目より解体作業、被災者は下部で資材を受け取り整理をしていた。朝の打ち合わせで下部で作業すると申し出た被災者が、下での作業が手薄になったことで安全帯不着用のまま、足場解体作業を始めていた。その状況に他の作業員は気付かなかった。被災者は2段目の階段を上がり3段目で部材を外して移動した時に、右足が階段の隙間に躓いてしまい体勢が崩れ、外壁と足場の間から墜落して、背中、腹、後頭部を地面に強く打ちつけられ負傷した。	71	30209	1	1～9
2017	6	9～10	会社の資材置場において、コンテナ内の道具類を整理整頓した後、外に出る際に開閉ドアの横に保管（20段積み、高さ約2m）してあった架設足場が崩れ、それが開閉ドアに当たり、開閉ドアとコンテナの間に挟まれ左手を負傷したものである。架設足場の保管状況の点検を怠っていた。	24	30199	7	10～29
2017	6	16～17	個人宅新築工事にて足場解体中、バランスを崩し、足場の階段（高さ約1m60cm）から落下し、負傷した。	43	30202	1	1～9
2017	6	17～18	住宅新築現場にて、1.7mの足場の上で屋根工事の作業中、足場の横パイプにぶつかりバランスを崩し、落下した際に右踵を骨折した。	59	30202	1	1～9
2017	6	8～9	個人宅の物置新築工事現場で、ひさしに垂木を取り付ける作業を前日に引き続いて行うところであった。2つの脚立を渡してある高さ60cmの足場板にのるため、脚立の1段目に右足をかけてから左足を2段目にある足場板にのせたところ、足場板が雨で濡れていた為に滑ってしまい、後ろ向きの姿勢で下に転落してしまった。この日は雨が止んだので、作業を開始したが、30分前頃まで雨が降っていた。	67	30209	1	1～9
2017	6	14～15	個人宅新築工事現場にて建方作業中、休憩前の清掃のため、1階の天井パネル上から右手にインパクトドライバーを持ち、足場の昇降階段を下りている際に、足場の建地のクサビ部分（つめ）に、右手の甲を打ちつけ、翌朝、腫れた。	33	30201	3	10～29

2017	6	8～9	屋根工事に伴う、材料の搬入状況や作業の進捗状況の確認、及び現場状況の写真撮影の為、仮設足場の最上部に達した際、歩み板を踏み外し、そのまま約5m下に転落した。その結果、鎖骨、両腕前腕、肋骨、股関節他、複数箇所を骨折した。	45	30209	1	1～9
2017	6	16～17	コンクリート解体作業中に、3メートルの高さの足場にて、安全帯を掛け直そうと右手に電動工具を持っていたため、左手にて安全帯を外し、振り返った際にバランスを崩し、飛び降りるような形で落下した。落下した先には、解体後のコンクリートがあり、右足を強打した。	35	30209	1	1～9
2017	6	14～15	自社第二工場内にて足場ばらし作業中、足場（2m）の上からバランスを崩し落下して負傷した。	44	30209	1	10～29
2017	6	15～16	解体工事中、2階の土間を研る作業をしている時に、2階の土間が落下し、その下敷きになった。	57	30202	1	10～29
2017	6	8～9	出勤時、作業服に着替えて居室に移動中、雨天の為、歩道帯を近道した時（コーナー部をショートカット）、通路出口周辺の排水溝の段差に右足を引っ掛け、小指部を強打した。痛みがとれず、右足小指の骨折が判明した。	32	11409	3	300～499
2017	6	9～10	玄関ホール先部にて屋根上に上がろうとした際、誤って足を滑らせ、バランスを崩し、急いで板金端部を掴んだところ、右手人差し指を切創したものである。	18	30202	2	1～9
2017	6	8～9	リフォーム中の住宅現場にて、足場の階段を下りた際、雨で地面が濡れていて転倒し、その際に右手をつき負傷した。	56	30209	2	1～9
2017	6	15～16	構内にて配管補修作業中、ヘルメット・安全帯装着にて作業をしていたが、ナットを締めていた際、ラチェットレンチが折れた反動でバランスを崩し、安全帯の掛け方が悪く落下し、怪我を負った。	30	30203	1	1～9
2017	6	11～	建物外周部にブルーシートを張る作業中、足場踏み板から足を踏	69	30202	1	1～9

		12	み外し、躯体と足場内側に落下した。				
2017	6	9~10	新築工事現場にて、安全ヘルメット及び安全靴を着用し、建物裏の外壁塗装の作業中、一昨日夜の雨で濡れていた足場で足を滑らし、安全ネットをすり抜けて地上3mから滑り落ち、隣接する境界法面で左足ふくらはぎを負傷した。	31	30202	1	1~9
2017	7	8~9	リフォーム工事現場で窓枠交換作業をしていた。片手に工具を持って窓枠に手をかけたところ、朝つゆで足場が濡れていたため、すべって約1.5m下に落下。足場の一番下のパイプに跨いで落ち負傷した。	61	30202	1	1~9
2017	7	9~10	敷地内にて枠組足場上で（地上からの高さ1.8m）目地の作業中、足を滑らせてしまい、足場から落下し、地面に左手首を強打した。その際、安全帯は、使用していなかった。左手首骨折と診断された。	20	30202	1	1~9
2017	7	9~10	建物外側の窓ガラス清掃しようと脚立（7尺）の5段目にいた時、脚立の足の部分が沈んで傾き、そのまま一緒に倒れた。左膝を傷めた。	25	30202	1	10~29
2017	7	16~17	現場で地上から足場に移動する時、材料（瓦5kg）を運ぶ作業中、地上から高さ1メートルの足場に足をかける時に足が滑り、背骨を骨折した。	47	30202	1	50~99
2017	7	14~15	現場で資材差し上げのため足場から下の階へ降りようと足場の手すりを握った際に、中指を脱臼してしまう。（変なにぎり方をしたため、それが原因で脱臼となる）	28	30201	19	1~9
2017	7	8~9	共同住宅新築工事において、2階床部の梁材を設置した後、1階へ足場から降りようとした際、足場の縦棒に掴まろうとして掴み損なってしまい、後ろ向きに降り始めていたため、そのまま後ろ向きに転落し、後頭部及び右大腿骨辺りを打撲し、負傷したもの。	30	30202	1	50~99
			校舎2F南側窓アルミサッシ戸車交換及び外れ止め交換作業を行っ				

2017	7	15~16	ていた際、腰に装着していた安全帯を使用せず作業していたため、足を滑らせ、足場上から転落。1階の窓ガラスを蹴り割り、足を負傷する。	21	30201	1	1~9
2017	7	14~15	新築工事現場にて、建方作業中、雨養生のために屋根上に揚げようと、畳んだ状態のブルーシート1枚（40cm×70cm×高さ10cm、重さ15.6kg）を、体の前で水平にして、結束しているPPバンド2本を両手で1本ずつ掴み、更に右手にはインパクトドライバーの充電電池を掴んで、足場作業床（土間からの高さ3.5m）を移動していた。移動中、ブルーシートで足元が見えなかったため、右足を踏み外してしまい、咄嗟に右手で足場を掴むも、ブルーシートが重く、手を離してしまい、土間まで転落、左手から着地した。国籍：フィリピン	26	30202	1	1~9
2017	7	16~17	足場解体時に11段目（建物8F）から手すり部材が落下して落下防止柵（朝顔材）にあたり搬出のトラックにあたり、下でトラックに積み込み作業をしていた被災者の右腰あたりに接触して負傷した。	23	30201	4	10~29
2017	7	13~14	新築工事現場にて、建方作業中、足場作業床3層目（地上からの高さ4.36m）で透湿シートを建物壁面に両手を伸ばして貼りながら、東から西に向かって移動していた。上部の壁面を見ながら移動していたため、作業床の切れ目に気が付かず、81cm下のバルコニー床まで転落した。転落の際、足場のブラケットに背中をぶつけた。	26	30202	1	1~9
2017	7	13~14	工場A-4レーンにてガントリー（足場）解体作業中にバランスを崩し約3mの高さから転落。胸椎脱臼骨折。	23	30302	1	1~9
2017	7	11~12	庇上の足場組をしていた。その下でも足場のアンチを納めている最中、そのアンチに乗ったため、アンチが外れ、2m下に落下した。この時、両足の踵を負傷した。	62	30202	1	1~9
			作業機材を1階へ下ろす際に、足場上でバランスを崩し、足場板の				

2017	7	9~10	間に足が挟まり、慌てて足を抜く時に足首の辺りに痛みを感じた。	44	30201	7	1~9
2017	7	11~12	塗装工事現場で、足場が切れている所に足を掛けて踏みはずし転落した。その際、側溝に落ちて左足かかとを負傷した。	47	30202	1	1~9
2017	7	13~14	地上15mの屋上外部足場にて、屋上の防水コンクリート打設中、コンクリート打設時の詰まり修理の際、足場上での作業中、安全带無しでの作業でバランスを崩しての転落。	44	30209	1	1~9
2017	7	11~12	解体用の養生足場の解体作業中に布単管の取り外し作業を行っていた。建地単管に安全帯を掛けて作業をしていたが布単管を取り外す際、建地単管のクランプに引っ掛かり建地が抜けて、建地といっしょに作業員が、墜落した。	25	30209	1	1~9
2017	7	16~17	油圧ショベル部品ベースフレームライン溶接P4作業場にて、フレーム製作中に次の作業へ移る際に乗っていた作業リフターから、踏み台に降りる時に、左足を踏み台に降ろし、右足を踏み台が有ると思い込んで降ろしたが、踏み台がない中央のレールがある箇所に足を降ろしたため、バランスを崩し、落下して右足首を被災した。次の作業箇所に気をとられて、足元が確認できていなかった（本人談）。	46	11301	1	1000 ~ 9999
2017	7	12~13	1製鋼3号転炉の炉修工事として足場板を設置するため、予め設置していた梯子を足場板を抱えて降りていた際に、足を踏み外して輻射部内を滑り転炉底まで墜落した。	27	11001	1	10~ 29
2017	7	16~17	硝子店加工場の外部屋根付近で、脚立を2本たて足場板を通して1人で補修作業をしていた。手には工具を持った状態で足場板を歩行中に、脚立と足場板はバンド等で結束はしていなかったが、足場自体が不安定で脚立が倒れた訳ではなく踏み込んだ位置が悪く足を踏み外して、落下し、左脇下辺りの肋骨を骨折した。	65	80209	1	1~9
2017	7	11~12	吊り足場の中段足場にて検査を行っていたところ、検査に夢中になり、中段足場の昇降口に気付かず、1.93m下の主体足場の作業	27	30309	1	50~

			床に後落とし、腰椎骨折した。					99
2017	7	15~16	解体工事で一階の屋根から足場に移動していたら足が滑って落下した。	68	30209	1		10~29
2017	7	9~10	外部足場上で安全帯が右足首に引っ掛かり、足首を捻ったまま倒れ、全体重が右足に掛かった状態になり、右足首を骨折した。	50	30201	2		1~9
2017	7	13~14	被災者等が2台の脚立を使って地上1.4mに足場板を置き、その上で作業していた。2人が中央に寄ったために重みで足場板が折れ、地面に落下した際に工事途中の配管に左足の踵を打ち付けた。	66	30202	1		1~9
2017	7	16~17	競馬場内でローリングタワーに乗ってガラス清掃を行っていた際に誤ってローリングタワーから転落し、足を強打した。高さ約1.3mのローリング上でバランスを崩し、飛び下りた。	61	150101	3		10~29
2017	7	14~15	倉庫にて、コンクリート用養生マットを片付ける際に、養生マットが単管組（養生マットを干す設備）に引っ掛かり、作業床のない上記単管組をよじ登り、バランスを崩し、高さ1.7m下のコンクリート舗装へ左足より落下した。	42	30106	1		10~29
2017	7	10~11	既存建物（12号棟）除去に伴う仮設養生足場6層目（H=10.5m）付近で、足場の資材を地上面に荷降ろす作業を実施していたところ、枠組足場に固定したブラケットと滑車が、荷下ろしする足場資材の重量に耐えきれず傾いた。被災者は、落下を防止しようと咄嗟に荷下ろしロープを握ったが、支えきれずに墜落した。	35	30201	1		1~9
2017	7	13~14	震災復旧現場で、ガラス施工のため、足場（GL+4000付近）を歩行中に、足場布板600mmから300mmに絞った隙間から転落し、強打した。	22	30201	1		1~9
2017	7	14~15	倉庫外壁修繕工事作業中、トタン打ちをしていて、乗っていた脚立（高さ約2m）からバランスを崩して飛び降りた際、着地時に左足を負傷した。	62	30202	3		1~9

2017	7	14~15	2階建新築工事現場で、足場の上で壁の中の板針作業をしていた。しゃがんで作業していたところ、手すりの間から地面に落ちた。	69	30203	1	1~9
2017	7	17~18	現場の鉄階段を移動するためのボルト取り外し作業中に、工具を取りに向かおうと安全帯を外し、BT足場から下りている途中に足を滑らせ約2mの高さから落下した。	54	30209	1	1~9
2017	7	13~14	構内タンク上部吊り足場折り返し部の先行解体で、吊木の0度側電線切断時安全帯のフック掛けをした状態では番線まで届かなかった為、安全帯のフックを親綱から外し番線を切断した。次の作業指示を確認しようと折り返し部の集積した足場の上を通り戻ろうとした際中央部付近で吊り足場が傾き集積していた足場材と共に墜落した。	37	30309	1	10~29
2017	7	8~9	外部の足場（2階）で、足場組立中に、ふらついて1階下に落下した。（5mの位置から落下した。）	66	30209	1	1~9
2017	7	10~11	ビデ足場の垂直梯子を昇降中、低血糖により目眩がして1~2段目より地面に落下し左肩を受傷した。受傷当日受診した結果、左肩脱臼の診断により処置を受けた。業務に復帰し、定期的に通院していたが、痛みが治まらず、あらためてMRI検査を受けた結果、左肩外傷性腱板断裂の診断となった。	65	30201	1	1~9
2017	7	11~12	足場上にて散水ホースのきりまわし作業中に安全帯の不使用のため足場から地上に転落した。下ざん等がなかったため。	24	30209	1	10~29
2017	7	11~12	新築先行足場架け現場で、高さ約6mの位置でメッシュシートを貼っているとき、安全帯を使用せず、手摺りに足を掛けて作業した際、足を滑らせて墜落した。	27	30202	1	1~9
2017	7	12~13	建築現場に納品の際、階段途中の頭上に鉄パイプ（足場）があり、その手前にビニールのカーテンがあった。進入時に風でカーテンがあおられ、バランスを崩したとき、ヘルメットの脇（際）部分を鉄パイプの端に当てて、頭部を切った。	50	40301	3	30~49

2017	7	9～ 10	リフォーム工事現場において、壁の改修作業中、サイディング材を運んでいた際にバランスを崩し、高さ約2mの足場から地面へ肩から落下し、負傷した。	55	30209	1	1～9
2017	7	15～ 16	事業場において、ブラケットを置き場に片付け作業中に、置き場に積み上げるブラケットを足元に置いて作業をしていたところ、足の置場をなくし、移動した際にブラケットに足をのせてしまい、身体のバランスを崩して転倒し受傷した。	26	80409	2	1～9
2017	7	8～9	鉄骨造3階建て保育園増築工事で、GL+7200（作業床）まで外部足場の昇降階段を登って鉄骨塗装作業を開始直後に、足場上に墜落した。	19	30201	1	1～9
2017	7	15～ 16	住宅の塗装工事にて、屋根に登って塗装作業を終えたあと、足場に足を移した際に足を踏み外し、そのまま後ろ向きで落ちて地面に転落し、腰を強打して骨折したものである。	55	30209	1	—
2017	7	14～ 15	基礎外周で外部型枠解体後、地上に上がる際に昇降設備を使用せず外部足場をよじ登り、高さ1.8mから足を滑らせ右足から地面に着地し、右足踵を負傷した。	38	30201	1	10～ 29
2017	7	16～ 17	足場の解体作業時に、足場を解体していたところ（地上高さ約5m）、足場のパイプを取り外そうとした。このときに、足場の悪い場所での作業のため、足場から墜落した。	42	30202	1	10～ 29
2017	7	11～ 12	外部塗装工事中、作業スペースが狭かったため、飛散防止ネットにもたれて作業していたとき、飛散防止ネットを留めてあったロープが破損して、1階の足場より転落し負傷した。	57	30202	1	1～9
2017	7	13～ 14	増改築工事のために、内部床・天井・壁等の解体撤去作業中、作業終了時に2階床梁の足場板（400×3.5×20cm、ベニヤ板）の固定ビスを外して1階に下ろす作業をしていたとき、足場板に乗り、別の足場板を取ろうとしたときに、乗っていた足場板が梁から外れ、1階土間に落下し（約3m高）、左肩・首等を打撲負傷した。	66	30202	5	1～9

2017	7	15～ 16	外壁改修現場で足場組立中、足場5段目床板から誤って約7m下の地面に落下し、右肩甲骨他を骨折した。	30	30209	1	10～ 29
2017	7	13～ 14	仮囲いに設置している社旗・安全旗を、地面よりの高さ1.2mの間地単管上で整備し、降りる際に左足の指が攀ったため、慌てて飛び降りた時に左足踵を負傷した。	52	30201	1	10～ 29
2017	7	11～ 12	当社ドック内において、新造船の建造中、船の周りの足場の組立て作業中に、鉄製の階段に横掛けの足場を組み、更に上部の足場を組もうと足場板に乗ったとき、角材のネジ止めが不十分であったため、角材と共に高さ約2mから落下した。その際、進水用のレールに頭部・左肩・左手首を当て受傷した。	75	11501	1	1～9
2017	7	11～ 12	共同住宅新築工事現場内において、4階外部足場より1階までコア抜きマシンの刃を下ろす途中、頭をぶつけて、尻もちをついた。その際、立ち上がる時に腰に痛みを感じた。	52	30201	3	1～9
2017	7	16～ 17	3階スラブ面から高さ9.9mの場所で、クサビ式足場の組立て作業をしていたとき、手摺部材をジョイントする部分に上手くはめ込めないため、2人掛かりで両端を合せて押し込んだときに、被災者が体勢を崩して下のコンクリートスラブに転落し負傷した。	38	30201	1	10～ 29
2017	9	14～ 15	木造平屋建て内部ステージ足場（2段）上で、移動中に足場布板につまずき床板と本梁のすき間から落下し、土間コンクリートに落ち左肩と胸部を骨折した。丸柱と中梁は集成材で、サンダー掛け仕上げを行う為、その時はネットが張られていなかった。	63	30202	1	10～ 29
2017	9	15～ 16	支店改修工事現場に於いて足場組立作業中、ビデ足場を2つ持ち上げて地面に置こうとした際、体勢が崩れ、下に置いたときに2枚のビデ足場の間に左右環指を挟み負傷した。	52	30209	7	10～ 29
2017	9	15～ 16	地内に於いて、住宅解体工事作業現場内で、がれきを片付作業中ビケ足場高さ68cmの横棒を跨いで通り抜けようとした、片方の足がひっかかり床コンクリートの上に左肩から転倒し負傷した。	54	30202	2	10～ 29

2017	9	14～ 15	建築現場に断熱材を運ぶ際に左の胸を強打した。断熱材を左肩に担いで、玄関入口に向かっている時、入口手前に中途半端に分解された足場があった。その足場は当該ドライバーの胸の高さであり、左肩の断熱材で見えず左胸を強打した。負傷後、数日間は業務を継続していたが痛みがひかない事で約1週間後に受診したところ、左肋骨にヒビが入っているのが確認された。	59	40301	3	10～ 29
2017	9	16～ 17	被災者当社従業員は、工事現場において、地上3mの足場上で外壁に防水シートを貼る作業をしていた。左に移動する際に、誤って、足場がない箇所に足を出してしまい、地面に落下し負傷した。	57	30202	1	1～9
2017	9	15～ 16	外壁貼り方施行中に足場を横に移動している時雨の為、足場が濡れていて足を滑らせ建物と足場の隙間より落下した。落下時、右肩より落ちた為左肩の打撲と後頭部を打撲した。	68	30201	1	10～ 29
2017	9	9～ 10	ビデ足場板が外れて落ちた。足場にのぼり、2層目の足場板に足をついたところ、フックがはまってなくて転倒した為、後方に落ちた。	61	30209	1	1～9
2017	9	17～ 18	足場で作った棚整理（2段目高さ1.5m）をしていた時、バランスをくずし誤って足を踏み外し落下し負傷した。	61	30110	1	1～9
2017	9	11～ 12	新築住宅の組立工事で、1階玄関の壁パネルを立てる作業中、足場の上からパネルを支え次のパネルを待っていた所バランスを崩し、約2m下の土間コンクリートの上に落下した。	46	30202	1	1～9
2017	9	9～ 10	外部改修工事の現場において。外壁塗装作業中に、1階屋根上に設置した仮設足場上で、2階屋根下の破風板の塗装作業中に、仮設足場の歩行用板上を移動中に足を滑らせて、落下防止養生ネットのつなぎ目より結束紐が切れて落下した。約2m下の1階屋根の上に転落し、左肩腕・脇胸・腹を強打し、左側肋骨2本骨折・左肩・腕打撲、左肘裂傷等のケガをした。	45	30202	1	10～ 29
		13～	外壁改修工事の現場で、足場解体作業中、地上約18m10段目付				

2017	9	14	近、荷降し作業前段取中バランスを崩し墜落した。	19	30209	1	1～9
2017	9	11～ 12	足場の上で養生作業中、足場板を一枚外していたところ、足場の一段目から転落し骨折した。	46	30202	1	1～9
2017	9	16～ 17	製作所工場K1の8機建屋8棟L3～4階部分の塗装工事を終えて、その作業近辺の足場を含めた清掃及び片付け作業中、誤って約9.5Mの高さの足場から転落し、足場下を清掃していた他の下請先従業員が接触して地面に叩きつけられ負傷したものである。	63	30203	1	1～9
2017	9	16～ 17	当事務所の庭の手入れ作業後、片付け作業中、架台の上に置いてある道具を片付ける為、玄関に向かう最中に架台にしていたハシゴにつまずき石の階段に右足首を強打した。尚、当日は止血の為バンソウコウを貼り帰宅、翌日に痛みが酷くなった為、病院に行き8針縫い手当を受ける。	51	30209	2	30～ 49
2017	9	9～ 10	外部足場の第1床で、外壁モルタル塗りの作業中、片手にバケツを持ち昇降設備を使用せず支柱を伝って地面に移動しようとした、その際に足を滑らせて右腕で身体を支え転落は免れたが、その時に肩を負傷したが、痛みを我慢できる程度であった為、作業を続け、元請の監督には報告せずにいた。その後、右肩腱板断裂と診断された。	51	30202	1	50～ 99
2017	9	9～ 10	吊り足場の解体作業場所で、SKパネルを使用した吊り足場を三人一組で床面パネルを取り外す作業を行っていた。被災者は自分の安全帯のフックを前方の吊りチェーン金具から取り外し忘れていた事に気づき、手を伸ばして取り外したが、この時あわてていたため2丁掛けのもう一方のフックを後ろの吊りチェーン金具に掛ける事を忘れていた。中央の作業者は外したパネルを床面に引き入れる為に、被災者方向にパネルを押し向きを変えようとしたが、被災者の位置を確認していなかった為、被災者の腰に当たりバランスを崩して足場床面から（約3mの高さ）橋下の法面ブロッ	20	30105	1	1～9

			ク部に墜落した。				
2017	9	10～ 11	選択取水設備（水門設備）塗装塗替作業中に、作業足場において、作業足場と水門扉との間の開口部があり、約7.2mから墜落災害が発生した。	38	30101	1	10～ 29
2017	9	8～9	壁つなぎや控えをとっていない枠足場の2段目（高さ3.5m）に上りロープを手渡しで受け取る際、作業員が脚立をかけて上がって来たので足場が建物側へ傾いた、身体を支えるため建物に手をついたその反動で道路側に傾き、支えを失くし建物と足場の間へ頭より落下し頭頂部裂傷と頸椎骨折したもの。原因は、壁つなぎ、控えのとっていない足場に上った、ヘルメットを着用していなかった。	74	170209	1	10～ 29
2017	9	10～ 11	第3リフト2号支柱上で、索輪の給油作業中に、下り線山頂側の足場から、下り線山麓側の足場に移動した時、バランスを崩し転落した。（安全帯は装着していたが、フックを支柱に掛けていなかった。）	55	170209	1	10～ 29
2017	9	15～ 16	児童福祉施設の建築工事現場で建物2階の屋根の長さを足場（地上より8mの高さ）に上がって測っていて方向転換したとき、足をふみはずし4m下の2階のコンクリート床にからだの右側から落下、負傷した。足場板（杉材）30巾4mを4本かけていた、ヘルメットは着用していたが、移動しないといけないので安全帯は着けていなかった。	70	30201	1	1～9
2017	9	13～ 14	体育館吊り天井改修主体工事において、小アリーナ足場の組立作業の手元として作業中に資材を取りに行く際、既存梁に頭部をぶつけてバランスを崩し、15.7mの高さの足場から転落した。落下途中に足場転倒防止単管にも衝突し、全身を強く打ち出血を伴う意識不明の状態だった、救急車でセンターに搬送されたが死亡した。	21	30203	1	10～ 29
			改修工事において、塗装養生作業中、仮設足場の上段から下段へ				

2017	9	13～ 14	移動中に足を踏みはずし、鋼管足場に転落し体を強打し負傷した。	68	30209	1	1～9
2017	9	16～ 17	工場焼却炉内等点検委託において、3号炉内足場仮設中に仮設階段を使用して4階から3.5階に下りるために階段を一段下りたところ、仮設階段の上部フックと足場単管パイプの掛かりが悪かったため、階段が外れて、被災者が階段と一緒に3階作業床まで3.8m墜落し、左足首を受傷した。	57	30309	1	1～9
2017	9	14～ 15	船のホールド上でバケットの吊りワイヤー及び開閉ワイヤーの取り替えと平バケットからオレンジバケットの取り替え作業時、ホールド上にあがり振れ止めワイヤーをブームに取り付け中、なれなくて手間がかかりホールドの下で他の者が振れ止めワイヤーを押さえきれず、その結果ワイヤーに引っ張られる状態になりホールド内に落下した。	39	30309	1	10～ 29
2017	9	15～ 16	担当者は災害当日、新築工事（85.00㎡、最高4.8M）施行中、作業点検のため見回り中、足場の作業床の上にあったボルトに足で踏み滑り、転倒し、床に墜落し負傷した。	69	30202	1	1～9
2017	9	14～ 15	市立体育館入口の信号で、新聞配達業務中、青信号で直進中、右の方からの信号無視の軽トラックに衝突された。	21	30209	1	1～9
2017	10	8～9	2階の本棚の中を塗ろうとした際、脚立から足を滑らせ、脚立と一緒に倒れて床に肘をついたところに脇腹が乗った状態になったと思われる。痛みはあったものの1日作業を終え、翌日になっても痛みが治まらなかった。骨折が判明した。	65	30202	1	10～ 29
2017	10	14～ 15	元請現場、宿舎新築工事で壁面タイル貼り作業をするため、ビケ足場の1段目天板（高さ180cm程度）に上がり、立ち上がろうとしたところ、頭が2段目の手摺りにぶつかり、そのまま転倒転落し、頸部を負傷したもの。	69	30201	1	1～9
2017	10	14～	事務所兼住宅の足場組立作業で、3段目が終わり休憩をするため地	42	30209	1	1～9

		15	面に下りる途中、何かに足をつまずいて落下。				
2017	10	15～ 16	農業用倉庫新築工事現場において、両手に資材を持ちながら歩いていたら、足が滑り足場のパイプに胸を強打した。	67	30202	3	1～9
2017	10	14～ 15	倉庫出入口のシャッターを取り付ける作業で、出入口にシャッター柱を設置時に柱材料である鉄アングルを寸法サイズに切断する工程で、右手に工具のベビーサンダーを持ち、左手で鉄アングルを押さえ切断中に、サンダーの回転が力の加減により跳ね返り、サンダーが材料を押さえていた左手に当たり左手を切ってしまった。	49	30203	1	1～9
2017	10	9～ 10	建物解体用に設置した足場の高さ9m付近で、足場の解体作業中に誤って足を滑らせ落下した。	41	30209	1	10～ 29
2017	10	16～ 17	建売新築工事現場で台風の接近に伴う足場の養生シートを畳む作業をしていたところ、1階中段、足場板から足を滑らせて落下し、直ぐ下の足場に膝を突き怪我を負ったもの。	52	30202	1	1～9
2017	10	14～ 15	被災者は、杭のコンクリート打設中、ミキサー車を誘導するため、3尺の立馬から降りようとした。後ろ向きに降りようとした時に1段目のステップ（高さ600）で足を滑らせて転落した。その際、地面の敷き鉄板に左肩を打ち付けて負傷したもの。	44	30201	1	1～9
2017	10	8～9	朝礼KY終了後2階から1階に下りる折り返しの所で2回目の材料を1階へとりに行くときに少し足がもたつき、ネットにかけるハネ出の足場へほぼ骨を打ちほぼが切れ眼球から出血した。	68	30201	3	1～9
2017	10	16～ 17	吊足場を撤去作業中、作業員同士が交差した際、安全帯のフックを外し吊足場上から吊りチェーンを投げた時、体にチェーンが引っ掛かり転落した。	20	30105	1	10～ 29
2017	10	10～ 11	足場の上で養生し、作業終了後、足場の手摺に乗ろうとした際、足を滑らせて足場から落下した。安全帯は腰道具に付いていたのだが、足場に付け忘れてしまい事故が起きた。	29	30309	1	1～9

2017	10	9～ 10	工場にて塗装工事ローリング足場で屋根下場作業中、スロープがあり道板を胴縁にかけて作業中、胴縁にかかっている板がはずれて高さ3.5m位の所から落下した。	52	30309	1	1～9
2017	10	10～ 11	看板シートめくりをするための仮設足場（高さ約3m）にいた時にバランスを崩して足場より転落した。	44	30309	1	1～9
2017	10	17～ 18	腰壁のシーリング打設時、作業床でない、足場材に立ちバランスを失い階段へ飛び降り着地に失敗し転倒。	23	30209	3	1～9
2017	10	9～ 10	新築工事の建方作業中にて、足場にかかる際、D階段を使わずに近くにあった手摺を掴み、足場にかかるろうとしたら、手すりを掴んでいた手が滑ってしまい転落。丁度落ちた所に角材が置いてあり、そこに背中が当たり負傷した。	36	30202	1	1～9
2017	10	9～ 10	造成現場にて、擁壁築道工事の作業中、高さ1.8m程度の足場上を移動している際、パイプサポートが斜めに足場板を貫通するために開いていた隙間（20cm×30cm程度）に右足を取られ、バランスを崩し、築道中の擁壁型枠、サポートの鉄パイプ等に右肩を強打し被災した。	31	30201	3	30～ 49
2017	10	10～ 11	町営住宅改修工事にて、足場組み立て作業中に、南面足場の5層目の床の無い開口部から地面に落下した。	30	30201	1	10～ 29
2017	10	9～ 10	台風21号により脱落した観音堂屋根のメッシュシート張を復旧作業中に誤って転落。	18	30202	1	1～9
2017	10	13～ 14	環状線の播脚に播脚補修のため設置されていた吊り足場の解体作業を行っていた。被災者（1名）は、解体中の足場上で足場床板を取り外し、搬出のための集積作業を行っていた。落下防止安全ネットを撤去し足場床板を結束している線の撤去作業をした。被災者は安全帯を着用していたが親綱を先に撤去していたため、フックを掛けておらず作業中にバランスを崩して高さ5.82mのところから転落し溺水。病院に搬送されたが、死亡した。	18	30199	1	10～ 29

2017	10	15～ 16	店舗の天井壁紙張り替え施工時に、六尺脚立を2本使用し、五段目に足場板を敷き、脚立に安全帯をかけて施工中にバランスを崩し上部から落下した。安全帯とともに脚立も転倒し脚立で頭を打ち、左足から落下し、左足脱臼粉碎骨折した。	43	30202	1	10～ 29
2017	10	13～ 14	立ち馬での作業時、幹線の配線作業が終わり立ち馬から降りようとした時に足をふみはずし、立ち馬の段差部を頭から滑り落ちるように転落した。肋骨3本骨折した。	42	30301	1	10～ 29
2017	10	11～ 12	作業所内PCマリオン用作業床から立馬に乗り移る際に立馬が転倒し、右手首を地面と体で挟むようにして転倒。PCマリオン用作業床から立馬へと飛び移るように乗り移った事が災害発生の原因と考えられる。	44	30201	1	30～ 49
2017	10	9～ 10	本人は、管設置場所において、ビデ足場と鋼管パイプで組み立ててあった足場を解体する作業に従事していた。鋼管パイプを分解中に、鋼管パイプのクランプを外し作業を行っていたとき、足場2段目（約3m）から滑り、転げ落ち負傷したもの。	38	30309	1	30～ 49
2017	10	13～ 14	建物2階部分の外壁施行状況を確認していたところ足場より、足を踏み外して転落。左肋骨、胸椎横突起骨折。	37	30309	1	1～9
2017	10	11～ 12	2号トンネル新設工事現場において、トンネル入り口に設置した足場の解体作業を行っていた。クレーンでつってきた足場のワイヤー取り外し作業中に、最後のワイヤーを外した際に足場が傾いたために体勢を崩し、1.7m位の高さから飛び降りた（転倒）際に左手を地面に着き負傷した。また、その際にアルミ階段が滑り落ちてきて、右ひざに当たって負傷した。	20	30102	1	10～ 29
2017	11	10～ 11	住宅建設現場にて、建築工事の躯体組み中、枠組み足場の階段上での安全帯の不使用と予測出来ない事態により、足場の階段上から転落した。	56	30202	1	1～9
2017	11	9～	高さ1.8mの脚立を並べ二段目に足場板をゴムバンドで固定をし、その上に乗り梁を上げる作業をしていた。その作業を終えて降り	71	30202	1	1～9

		10	る際に、誤って足を踏み外して転倒した。				
2017	11	11～ 12	ガス管理設工事において、150A鋼管（9m×5本＝45m、重量900kg）を掘削溝内に吊り下ろす位置まで台車で運んだ。掘削溝から離れていた為、位置を調整していたところ、端部から掘削溝に滑り落ち始め、被災者がパイプと共に転落して挟まれ被災した。運搬台車はキャスター付きで、4輪とも回転するタイプであった。	46	30201	9	1～9
2017	11	15～ 16	足場近接部にて生コン打設中に少しでも近道をしようとして、1m程度離れている足場同士を渡る際に足場間のスペースを落下し、その際に右側の胸・腕・顔を足場の構成板に打ちつけ打撲及び肋骨を骨折した。	58	30201	1	1～9
2017	11	21～ 22	店舗内の段差にて、接客の為、お客様のところへ向かった際に、誤って踏み外し、転倒した。左足首を骨折、靭帯損傷と診断された。	19	140201	2	10～ 29
2017	11	16～ 17	外部足場組立において、手渡しによる足場材荷上げの作業を行っており、被災者は6段目で中継ぎ作業をしていた。荷上げの為、作業場所の足場板2枚敷きのうち、1枚を外し作業をしていた最中にバランスを崩し転落した。	26	30201	1	1～9
2017	11	15～ 16	住宅雨漏り調査・雨樋交換の高所作業中に足場の上で体勢を崩し、腰を捻り受傷したものである。	49	30209	19	1～9
2017	11	9～ 10	建設現場において枠組足場1段目（高さ20m）に立ち、梁にドリフトピンを打ち込む作業をしていた際足を滑らせ、尻を足場板にぶつけ、基礎コンクリート部から鉄筋が突き出している場所に転落し、太ももに鉄筋が刺さり受傷した。作業中、安全帯を腰に付けていたが、使用していなかった。	66	30201	1	1～9
2017	11	13～	個人宅建築現場にて、強風のため、高さ2m弱の足場の上で外壁のタフシートの補強作業を行っていた。作業中、降雨のため、濡れた足場の段差に足を滑らせてしまった。単管を掴もうとしたが、	65	30202	1	1～9

		14	掴むことが出来ず、回りながら肩から落ち転倒した。ヘルメットは着用していたが、落ちる際にずれ、左前側頭部を負傷した。検査の結果、左前側頭部を骨折していた。				
2017	11	15～ 16	元請事業主の倉庫内で部材の片付作業をしていた際、部材（柱）を立て掛けようとしたところ、先に立て掛けていた柱が倒れて来て、右手を挟み親指を裂傷した。	21	30202	5	1～9
2017	11	11～ 12	個人宅新築工事現場にて、軒天のボード貼りをしていた。足場が雨で濡れている状態での作業であったため、足を滑らせてしまい躯体との隙間（約40	63	30202	1	1～9
2017	11	13～ 14	吊り足場解体作業中に、安全帯を掛け直す際、足場板を踏み外してしまい3m下へ落下した。	32	30105	1	10～ 29
2017	11	16～ 17	屋根の修繕工事で平屋建て家屋屋根の漆喰ラバー打ちを終わり、地上へ降りる時、足場に掛けたブラケットを使用して降りる最中にブラケットから足を踏み外し、地上より1m20cm位の高さより転落して右腕を地面に強打し右肘を骨折した。	23	30202	1	10～ 29
2017	11	8～9	搭屋看板工事現場にて、足場北側面最上段（高さ5.3m）から足場材（5mの単管）を足場下の作業員に渡そうとした際、足を滑らせ転落した。その際、右腕の手首から肘関節にかけ骨折した。右足のふくらはぎを打撲した。	23	30209	1	1～9
2017	11	13～ 14	個人宅新築工事において、基礎打設工事の為、コンクリート圧送車を使用していたところ、圧送車のアームが足場に触れ、その衝撃で足場の一部が落下し、作業員の太ももに当たり負傷したものである。なお、現場は勾配があり、道路より下での作業であった為、圧送車のアームを足場の上へ伸ばし、ホースを下へ垂らしながらの作業であった。	33	30202	4	1～9
2017	11	10～ 11	RC造5階建の事務所ビル建設工事現場の5階部分で脚立足場上にて型枠解体作業中、バランスを崩して足場から約1.5m下の床面に転落し、右足かかとを骨折した。	36	30201	1	10～ 29

2017	11	16～ 17	塗装作業中、足場の上から足を滑らせてして落下した。その後、左手首に全体重がかかり骨折した。	21	30201	1	1～9
2017	11	16～ 17	家屋の新築工事現場で、足場の組み立てをしている所、誤って足場の踏み板を踏み外してしまい約5m下の隣地の犬走りに墜落し、各部位を骨折した。	21	30202	1	1～9
2017	11	14～ 15	工事現場にて階段中央の壁を組むために道板を、足場に脚立を使用し、十字に組み作業していた。作業が終わり上から道板を除けようとした際に、中央壁の型枠敷ばたに片足を置きコンクリートの手摺り壁にもう片足を置こうとしたところ、踏み外し1.5m程の高さから転落した。	47	30201	1	10～ 29
2017	11	9～ 10	建築新築工事現場の2階部屋内の準耐火間仕切りの石膏ボード貼り作業を行っていた。脚立に足場板を取り付け、その上で上部電気配線を避けながら、足場板上を横移動していたところ、ビス打ち機のエアーホースに足が絡まった。その際、バランスを崩して床上に転落し、首左側を間仕切りの土台に打ち付け被災した。	60	30202	1	10～ 29
2017	11	9～ 10	凍結した魚の脱パン作業中に足場に足を掛けていたが、方向転換の際に足場を入れ替えようとしたところ、足場を踏み外して受傷した。	50	10103	1	50～ 99
2017	11	12～ 13	原因は、足場ブラケットのボルト部の劣化による破断である。ブラケット足場上で躯体コンクリート打設の作業後、安全帯を外し、次の施工場所へ移動しようとして片付けをしていた際、ブラケット足場のクランプのボルトが破断し、足場布板と共に3.7mの高さから落下した。背中の中胸椎付近から落下した。	44	30202	1	10～ 29
2017	11	8～9	一戸建て住宅建設現場にて上棟作業を開始した際、大工が外部足場上で、木材を大ハンマーで打ち込む準備をしていたところ、バランスを崩して転落しそうになった。結果、自身の判断で1.8m下の1階床に飛び降りたところ、着地には成功したが、衝撃が両足に	39	30202	3	1～9

			走り、診断の結果骨折が判明した。				
2017	11	11~12	外部足場解体初日、建物北面にて上層部より足場を解体し、下段各段に配置した作業員に手渡しし、1階まで荷降ろしをしていた。11段目の布板を取り外し、下層に荷降ろしをしている際、8段目の作業員が7段目の作業員に渡しそびれて布板が落下した。6段目には作業員の首に当たった後、方向を変えて1階まで落下し、荷捌き作業をしていた被災者の頭に当たった。吹き抜け部には落下養生棚を設け、開口真上での荷降ろしは避けていたが、方向の変わった布板が、開口部に落下した。	37	30201	4	10~29
2017	11	8~9	現場にて負傷した。作業を行っていたところ、誤って足場（高さ4m）から転落した。隣家との境界にあるブロック塀に腰を打った後、隣家の庭に落下した。	23	30209	1	1~9
2017	11	16~17	新築工事現場において、被災者が、高さ約2m上の足場にて階段壁の鉄筋組作業中、足場の板がずれ階段上に転落し、左膝、左腰部、左肘を強打し打撲を負った。（当初は、大したことはないと思いき、受診しなかったが痛みが増し受診した。）	48	30201	1	1~9
2017	11	16~17	ビニール張り替えの作業が終わり、足場から高所作業車の枠に足を掛けた為、足を滑らせて転倒した。	48	30309	2	1~9
2017	12	11~12	被災者は、浄化槽のマンホール周囲モルタル塗り作業をするため、作業場所で打ち合わせをし、作業を開始した。作業完了後、作業場所から12m程度離れた2段足場の近くで携帯にて電話をしている時、突風にて西側コーナーから足場が倒壊している状況が視界に入り、逃げようとしたが間に合わず、倒壊する足場に当たって転倒し、負傷した。	60	30201	5	10~29
2017	12	9~10	新築工事現場において、強風で外れたシートを張り直す作業をしていたとき、シートの上で滑って転んでしまい、その際に90cmほどの高さの足場に右脇を強打した。その日は痛みを我慢して仕事をしたが、翌日も痛みが治まらなかったため病院を受診した。	62	30202	2	1~9

2017	12	11~12	脚立と脚立との間に足場をかけ、天井貼り工事中、足を踏み外し、玄関の床の段差の角に胸をぶつけ負傷したものである。	64	30202	1	1~9
2017	12	9~10	事業所前の駐車スペースで、介護車両の取り扱い研修中、車椅子スロープを片付け収納作業中、誤って手が滑り、地面に落下して左足つま先部に圧迫接触した。	68	130201	2	10~29
2017	12	11~12	4F外部足場せり上げ作業中に、建枠を積む際に接続部に皮手袋が挟まり、一度取り外して取ろうと、建枠を上を持ち上げた時にバランスを崩し、床のアンチに接触してバウンドし、顔に当たり負傷した。	49	30209	6	1~9
2017	12	2~3	初日仕込途中に、4段イントレの足場のパイプから1.5mパイプを伸ばして幕をかける作業中に、ジョイントピンからパイプが抜けて、職人が下に転落し、その衝撃で右肩を右足首を骨折し、全治1か月から2か月の入院治療となった。	44	100109	1	1~9
2017	12	14~15	コンクリート造り倉庫解体作業中、壁が予想外のタイミングで倒れてきて、被災者は逃げようと1.8m高の足場（ローリングタワー）から飛び降りた際、右足首を骨折してしまった。	45	30202	3	50~99
2017	12	10~11	解体作業がおわり、足場を外す作業をしている時に、足場がゆるんでいたのが落下してしまった（4m）。落ちた時にちょうど風呂釜があり、手の甲を切ってしまった。	23	30209	1	10~29
2017	12	15~16	高さ4mの単管足場上で足場解体作業中、先に解体してあった縦単管を誤って掴んでしまい、墜落した。	50	30199	1	30~49
2017	12	13~14	2階デッキ塗装に小型ローリングを使用中、ローリングに昇降したところ、ローリングごと転倒し、被災者が下敷きになり、右肩を負傷した。	37	30203	1	30~49
2017	12	16~17	屋根の塗装作業終了後、足場を踏み外して後ろ向きで落下し（高さ3m）、負傷した。	48	30202	1	10~29
			スタンド建設工事、現場内外部足場西面にて、足場3層目（立入禁				

2017	12	8~9	止範囲)で鉄骨材料の荷揚作業を行っており、作業が終わり、移動しようとして後退した。後ろに下がった部分の足場板が外されたままの状態になっており、そこで足を踏み外し、2層目の足場へ転落し、上半身を打った。	61	30201	1	1~9
2017	12	13~14	資材置場(倉庫)にて資材片付け中、仮設足場に頭部をぶつけ、そのまま転倒した。	65	30209	3	10~29
2017	12	11~12	利用者宅のサービスを終え、次の利用者宅に自家用バイクで移動中、バイクごと転倒した(悪天候による単独転倒)。	44	30302	5	1~9
2017	12	10~11	外構工事において、RC造のガレージの門部分の左官作業を足場上(高さ約1.6m)で行っていたとき、横に移動しようとした際に体のバランスを崩し、誤って地面に落ち、左足踝・右足膝および腰部を打ち負傷した。	76	30309	1	1~9
2017	12	9~10	2階特殊浴室壁のブロック積み作業中に、頭上の配管に頭をぶつけた拍子に、高さ1.8mの脚立の足場から転落した。	57	30201	1	1~9
2017	12	16~17	新築工事現場において、鋸を打とうと思い、高さ3m50cmの足場の上を移動していて、足を踏み外して転落した。	52	30202	1	1~9
2017	12	13~14	朝礼時に作業指示および安全指示を受け、2号ドック修繕船プロペラ付近にて作業を行っていた。午後からは船体付加物の上(高さ約1.7m)に乗り、プロペラ軸保護カバー取り付け作業を行っていた。プロペラ周辺作業を半分終えたため、作業場所を移動しようと足場(高さ約1.7m)に乗り移ったとき、バランスを崩して背中から渠底に転落し被災した。	52	11501	1	500~999
2017	12	9~10	宅地造成工事現場において、不要となったコンクリート蓋を2tダンプに載せるため、重機積み込み用の足場を利用して人力で運搬中に、足を滑らせバランスを崩して転倒した。その際に2枚の足場の間に足が挟まり、左膝の外側を負傷した。	25	30199	2	10~29
			新車駐車場で、4tトラック車の文字看板入れ(ステッカーマー				

2017	12	14~15	キング) をしているとき、2つの脚立に通した、地上1.5m位の高さのアルミ足場板からバランスを崩して転落し、左手をついて左手首を骨折した。	54	90209	1	1~9
2017	12	13~14	自動車整備工場新築工事において、足場上にて屋根材をトラックから運ぶ作業中に、手元に集中していたため道板の隙間に右足を落としてしまい負傷した。	66	30202	19	1~9
2017	12	8~9	店舗新築工事現場内で、外部足場の養生作業をするためシートを運んでいるとき、約4mの高さの足場開口部（筋交いのない作業床）から転落して被災した。	30	30201	1	10~29
2017	12	15~16	新築工事現場で、外壁の筋交いの取り付けが終わり、脚立から下りた際に足場から足を踏み外し、1階へ落下した。その際に右足指を3本骨折し、倒れたときに額を木くずで切った。	56	30202	1	1~9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html